

佐賀大学

【N075 佐賀大学】

	佐賀大学 農学分野
学部等の教育研究 組織の名称	農学部（第1年次:145 第3年次:10） 大学院農学研究科（M:40）
沿革	大正9（1920）年 佐賀高等学校創立 昭和24（1949）年 佐賀大学文理学部設置 昭和30（1955）年 農学部設置（独立） 昭和45（1970）年 大学院農学研究科修士課程設置
設置目的等	<p>佐賀大学農学部・大学院農学研究科の母体である佐賀大学文理学部は、広く教養的知識を授けると共に深く人文科学，社会科学，自然科学，農学及び教育学に関する専門の学芸を教授研究し，知的，道德的及び応用的能力を有する人材並びに教育者を養成することを目的として昭和24年に設置された。</p> <p>昭和30年，地域の農業振興に寄与するために，農学部は文理学部から独立して設置された。</p> <p>昭和45年，学部における一般的並びに専門的基礎のうえに，更に広い視野に立って精深な学識を持ち，専門分野における理論と応用の研究能力を持った人材を養い，もって農業生産に貢献し，国家的要請に応えることを目的として，佐賀大学初の大学院として農学研究科が設置された。</p> <p>昭和63年，日本の食料生産基地である九州・沖縄において，農林水産業の更なる発展を目指し，環境と調和した安定的な食料生産及び技術革新を担う指導者の養成を目的として設置された鹿児島大学大学院連合農学研究科に参加した。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>佐賀大学は，我が国有数の食料生産基地である佐賀平野に立地し，持続的食料生産，環境保全，生物資源利用等，生活基盤を支える農学を探究し，地域と共に未来に向けて発展し続ける大学を目指して教育，研究，社会貢献に取り組んでおり，以下の強みや特色，社会的な役割を有している。</p> <p>○ 佐賀県をはじめとする周辺地域の農学教育研究機関として，幅広い教養と高度な専門教育と共に，課題発見・解決型の研究，地域社会・産業界と連携したフィールド実習及びインターンシップ等の実践教育を展開し，地域産業の振興と社会の持続的発展に貢献できる</p>

創造性豊かな専門職業人を育成する役割を果たす。

- 生物資源開発・利用の先導的研究実践により、大学院生の研究成果が国内外で高い評価を受けてきている。今後も、更に高度な研究開発能力をそなえた専門職業人を育成する大学院教育を目指す。また、農業技術経営管理者を育成する教育プログラムや日中韓の国際的連携による人材育成などの実績を生かし、高度な専門技術と経営能力を有しグローバルに活躍できる農学系人材を育成する学部・大学院教育を目指す。
- 我が国トップの遺伝資源（ミカン亜科植物及びダイズ突然変異系統）の保存とゲノム研究を基盤とした国産初のグレープフルーツ及び高オレイン酸ダイズ等の新品種開発、機能性食品や化粧品の新素材開発、これらの国際的共同研究への展開などの実績を生かし、生物資源科学研究の地域及び国際的拠点となる研究を推進する。さらに、異分野融合型の新領域教育研究を取り入れたアグリ創生に関する研究に取り組み、食糧、環境、生命科学の重要課題の解決に寄与する。
- 地域産業界と連携した農畜産物の生産から加工、消費までの総合的な学生参画型の教育研究の展開、起業化を含めた産学官連携による研究開発の推進、「さが機能性・健康食品開発拠点」と連携した地（知）の拠点機能の強化の実績を生かし、地域の農業・食品産業の発展に貢献する。また、佐賀県内の農政審議会や九州経済連合会農林水産委員会等への参画、有明海や蕨野棚田の環境維持保全活動の支援等、地域社会に貢献してきた実績を生かし、九州地域の農林水産業の振興や生活環境の保全・修復に貢献する。
- 社会人向けの農業技術経営管理士育成講座、夜間開講、公開シンポジウム等、社会人学び直しを推進し、地域農業や食品産業をけん引する人材の育成に寄与する。また、地域の高校生に、農学に関連した理科教育研究を教授し、地域の理科教育に貢献する。